

事業概要シート

施策	2101	効率的な行政運営の推進	《》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	第6次大村市総合計画策定事業	新規	予算額	5,137 千円 《 0 》千円	
事業期間	令和6年度 ~ 令和7年度		財源内訳	国庫支出金	0 千円
根拠法令要綱等	<ul style="list-style-type: none"> ・大村市議会の議決すべき事件を定める条例 ・大村市総合計画に関する規則 			県支出金	0 千円
				地方債	0 千円
				その他	0 千円
			一般財源	5,137 千円	

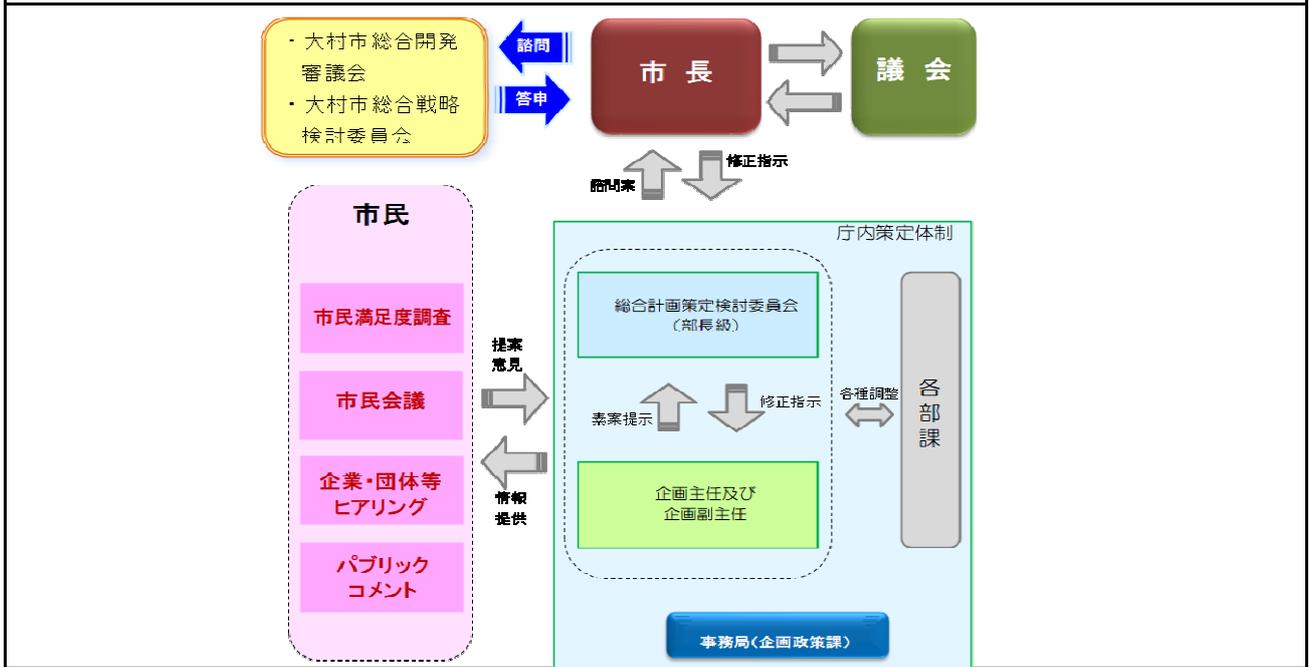
【事業の目的・概要・対象】

(目的)

現行の前期基本計画が令和2年度で、5年間の計画期間を迎えることから、この5年間の取組の成果検証や、社会情勢の変化等を踏まえたうえで、より将来像の実現に資する行政運営を行っていくため、後期基本計画を策定する。

(概要)

より将来像の実現に資する行政運営を行っていくために、本市の現状・課題を解決に結び付ける実効性がある後期基本計画を策定し、当該計画に沿って施策・事業を展開していく必要がある。そのためには、限られた時間の中で、効率的な策定作業を行い、計画を策定する必要があるため、策定支援業務の一部を委託するとともに、完成した後期基本計画については、印刷製本のうえ、庁内各所及び関係機関等に周知・配布する。



【背景】

平成28年度から、第5次大村市総合計画をまちづくりの基本指針として市政運営を実施している。現行の計画は令和7年度で計画期間を迎えることから、令和6年度から令和7年度にかけて第6次大村市総合計画を策定する必要がある。

担当課	企画政策部企画政策課	課長	三岳 和裕
担当者	鳥越 孝也	問合せ先	0957-53-4111 (229)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	企画主任会議開催回数	回	—	—	6	6	—
②	副市長・部長級会議開催回数	回	—	—	6	6	—

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	計画策定件数	件	—	—	—	1	—
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	0	0	0	5,137	9,878	0	15,015
国庫支出金				0	0		0
県支出金				0	0		0
地方債				0	0		0
その他				0	0		0
一般財源				5,137	9,878		15,015
人件費	0	0	0	15,264	15,984	0	31,248
職員(人)				2.00人	2.00人		4.00人
時間外勤務(h)				360h	720h		1080h
会計年度任用職員(人)				0.00人	0.00人		0.00人
フルコスト	0	0	0	20,401	25,862	0	46,263

妥当性 (市の関与)	本市の事業で本市の総合計画策定業務を実施することは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	前期計画の成果や社会情勢の変化などを考慮したうえで、次期基本計画を策定することにより、本市の施策を有効なものとする。
効率性 (コスト)	過度な時間外勤務とならないよう、努めて業務を行うことが必要である。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり